



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社トミタ 上場取引所 東
 コード番号 8147 URL <http://www.tomitaj.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 中村 龍二 TEL 03-3765-1219
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,311	△0.7	413	23.6	514	△9.4	379	△12.1
2022年3月期第3四半期	14,407	17.5	334	119.1	568	75.9	432	106.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 760百万円 (7.7%) 2022年3月期第3四半期 706百万円 (5.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	73.25	—
2022年3月期第3四半期	83.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,873	10,898	63.0
2022年3月期	16,264	10,226	61.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,626百万円 2022年3月期 9,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,900	7.7	580	39.1	680	△5.9	410	△16.2	79.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	6,158,000株	2022年3月期	6,158,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	972,808株	2022年3月期	972,717株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,185,267株	2022年3月期3Q	5,185,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進んだことで景気は緩やかな回復基調にあるものの、半導体不足に加え、ウクライナ情勢の長期化や中国でのロックダウンの影響によるサプライチェーンの混乱、世界的なインフレの進行、金融引き締め及び為替の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国の工作機械業界は、当第3四半期連結累計期間は、国内は需要が前年同期比9.0%増加、海外では需要が前年同期比6.8%増加し、その結果国内外全体の受注額は7.6%増加し1兆3,114億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては、国内では半導体や建機関連部品業界の旺盛な需要のため、加えて、海外では業績回復及び従来とは異なる業界からの需要増加のため、受注額は順調に増加しました。一方で、半導体や一部部品の供給不足により、工作機械の納期が引き続き長期化していること、当社グループの主力ユーザーである自動車メーカーの工場の稼働日数、工場消耗品の需要がまだ回復途上であることなどから、売上高は前年同期比減少となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は143億1千1百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は4億1千3百万円（同23.6%増）、経常利益は5億1千4百万円（同9.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億7千9百万円（同12.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

日本

半導体や一部部品不足を主因とした長納期化の影響により工作機械の売上が減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は82億9千7百万円（前年同期比10.1%減）となり、営業利益は1億7千6百万円（同10.2%減）となりました。

北米

半導体や一部部品不足の影響により完全な回復には至っていないものの、為替変動及びメキシコを中心とした自動車メーカー向けの受注増加を主因として売上が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は25億8千1百万円（前年同期比5.3%増）となり、営業利益は9千4百万円（同25.9%増）となりました。

欧州

自動車メーカーの設備投資に対する受注・売上が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は3億2千6百万円（前年同期比78.6%増）となり、営業利益は4百万円（前年同期は0百万円の営業利益）となりました。

アジア

中国ではゼロコロナ政策による経済活動規制があったものの、中国以外のアジア各国では新型コロナウイルス感染症による影響から回復基調にあり、タイ、ベトナムを中心に前年同期の売上高を上回った結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31億4百万円（前年同期比22.1%増）となり、営業利益は1億1千2百万円（同48.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が8億1千2百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加し、168億7千3百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が2億3千6百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6千1百万円減少し、59億7千5百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が5億3百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億7千1百万円増加し、108億9千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、半導体・建機関連等の需要が旺盛な業界や航空機関連、医療機器関連業界への営業の強化及び欧州の最先端の自動車部品製造用機器の取扱いを増やし、営業基盤の拡大に努めております。しかしながら、通期の業績予想につきましては、世界的な半導体や部品不足の継続、ウクライナ情勢の長期化やサプライチェーンの混乱、為替の急激な変動等、事業環境は依然として不透明であることから、現時点では2022年5月16日に公表いたしました予想を据え置くことといたしますが、今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,818,951	6,631,258
受取手形	366,895	460,696
売掛金	3,012,350	2,977,230
電子記録債権	1,182,534	1,146,769
商品	731,875	521,328
その他	588,116	728,981
流動資産合計	11,700,724	12,466,266
固定資産		
有形固定資産	1,042,492	1,110,511
無形固定資産	60,925	56,205
投資その他の資産		
投資有価証券	2,341,478	2,120,680
投資土地	787,862	787,862
その他	344,527	346,033
貸倒引当金	△13,970	△13,970
投資その他の資産合計	3,459,898	3,240,606
固定資産合計	4,563,316	4,407,323
資産合計	16,264,041	16,873,589
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,200,186	1,963,739
電子記録債務	1,494,699	1,582,144
短期借入金	236,914	278,274
未払法人税等	156,870	56,264
賞与引当金	77,000	24,200
役員賞与引当金	51,000	21,300
その他	480,047	582,548
流動負債合計	4,696,718	4,508,471
固定負債		
長期借入金	-	87,540
役員退職慰労引当金	296,232	318,897
退職給付に係る負債	23,935	29,712
その他	1,020,381	1,030,713
固定負債合計	1,340,549	1,466,863
負債合計	6,037,268	5,975,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	397,500	397,500
資本剰余金	280,300	280,300
利益剰余金	7,967,358	8,259,036
自己株式	△453,404	△453,480
株主資本合計	8,191,754	8,483,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,254,594	1,099,195
土地再評価差額金	529,500	529,500
為替換算調整勘定	10,657	514,071
その他の包括利益累計額合計	1,794,752	2,142,767
非支配株主持分	240,266	272,131
純資産合計	10,226,773	10,898,254
負債純資産合計	16,264,041	16,873,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,407,965	14,311,023
売上原価	12,095,654	11,732,274
売上総利益	2,312,310	2,578,748
販売費及び一般管理費	1,977,735	2,165,147
営業利益	334,574	413,601
営業外収益		
受取利息及び配当金	31,531	40,738
仕入割引	10,230	10,760
受取賃貸料	68,830	67,015
為替差益	55,034	-
保険解約返戻金	29,933	-
助成金収入	61,606	10,912
受取保険金	-	51,408
その他	4,890	4,050
営業外収益合計	262,056	184,886
営業外費用		
支払利息	2,557	3,126
不動産賃貸費用	23,828	25,011
売上割引	1,382	2,692
為替差損	-	48,803
その他	800	4,431
営業外費用合計	28,569	84,065
経常利益	568,061	514,422
特別利益		
固定資産売却益	1,160	3,807
投資有価証券売却益	-	30,940
特別利益合計	1,160	34,747
特別損失		
固定資産除却損	78	-
投資有価証券売却損	-	16
特別損失合計	78	16
税金等調整前四半期純利益	569,143	549,153
法人税、住民税及び事業税	127,575	155,141
法人税等調整額	9,204	13,304
法人税等合計	136,780	168,446
四半期純利益	432,362	380,706
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	879
親会社株主に帰属する四半期純利益	432,333	379,827

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	432,362	380,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155,346	△155,399
為替換算調整勘定	118,628	535,556
その他の包括利益合計	273,974	380,157
四半期包括利益	706,337	760,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	716,060	727,842
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,722	33,022

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

従来、当社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社において、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	9,231,234	2,451,076	183,040	2,542,613	14,407,965	—	14,407,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,977,689	5,756	62,715	9,368	2,055,530	△2,055,530	—
計	11,208,924	2,456,833	245,755	2,551,982	16,463,496	△2,055,530	14,407,965
セグメント利益	196,140	74,951	5	75,615	346,713	△12,138	334,574

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,138千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	8,297,851	2,581,377	326,957	3,104,836	14,311,023	—	14,311,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,893,451	32,166	99,621	26,329	2,051,568	△2,051,568	—
計	10,191,302	2,613,544	426,578	3,131,165	16,362,591	△2,051,568	14,311,023
セグメント利益	176,144	94,332	4,672	112,180	387,330	26,270	413,601

(注) 1. セグメント利益の調整額26,270千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。